

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第7回武蔵村山市まちづくり基本方針策定委員会
開 催 日 時	令和5年1月11日（水） 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	401会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：大沢委員長、岡村副委員長、青木委員、栗原委員、水永委員、名越委員、高橋委員、大野委員、樋渡委員 事務局：都市計画課長、同課係長（計画係）、同課主事（計画係） 欠席者：荒幡委員、国井委員、圓地委員、大竹委員、名取委員、永田委員、檜山委員、白濱委員
報 告 事 項	(1) 第6回策定委員会の委員対応について (2) 住民説明会の意見対応について (3) パブリックコメントの意見対応について (4) 東京都の意見対応について
議 題	(1) 武蔵村山市第二次まちづくり基本方針（案）について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	報告事項(1)について ・ P 1 1 8 PDCAサイクルに具体的な年次を示すか検討する。  議題(1)について ・ P 5 0 駅周辺のまちづくりについて、記載を検討する。  議題(2)について 今後のスケジュール ・ 2月上旬 議会 ・ 2月下旬 都市計画審議会 ・ 3月上旬 庁議 ・ 3月末 製本
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  〔凡例〕 ◎：委員長 ○：委員 ●：事務局	【報告事項(1)～(4)】 ● 資料1～4に基づき報告。  ○ 資料2 No7 PDCAサイクルの意見について、何年か後に見直しを行う等が決まっているのであれば具体的に記載した方が、PDCAサイクルの主旨とも合う。P6にもおおむね10年後の見直しについて記載があるため、こちらを基に一度検討してほしい。  ● PDCAサイクルの具体的な年次を記載してしまうと、多摩都市モノレール延伸の進捗次第で見直し時期を早くした場合に対応が難しくなると考え、適宜見直しの検討という表現にしている。年次まで記載するかどうか再度検討する。

- ◎ 資料2や資料3は、ホームページ等で公開する予定はあるか。
- 公開する予定である。
- ◎ 了解した。指摘があった内容については、事務局が説明した考え方が資料2や資料3に記載されている。本編に具体的な内容はないが、公開資料を根拠として市の意向を示す考えで良いか。
- そうである。

【議題（1）】

- 資料5に基づき説明。
  
- P101 令和4年度多摩都市モノレールフォトコンテスト入賞作品の写真について、著作権の問題もあるので掲載の条件について確認してほしい。他の写真は市が撮影して著作権は市にあるのか。
- フォトコンテストは市が開催しており、著作権は市に帰属している。また、他の写真も市で撮影しているため問題ない。フォトコンテストについては、庁内からも写真のタイトルを記載する案が出たため、現在検討している。
  
- ◎ 東京都は計画目標で西暦を使用したりするが、本方針は和暦を使用している。本市の決まりや考えがあるのか。
- 本市の各種計画書では和暦で記載することが決まっている。西暦を併記する方法もあるが、読みやすさを検討し和暦のみ記載している。ただし、都知事の発言等を引用する場合は、その発言に準じて記載している。
- ◎ 了解した。今後も様々な計画を作る中で、東京都の西暦表記と差異が生じないように注意してほしい。
  
- 分野別方針の2 道路・交通環境の整備方針では、基本的に道路のことが多く記載されているが、道路だけでなく、駅とその周りの交通のあり方について記載ができないか。他の分野別方針で補足されているのであれば問題ない。
- P47 1 土地利用の方針（3）市街地の整備 ■多摩都市モノレール新駅周辺のまちづくり に駅及び駅周辺の土地利用について記載している。2段落目以降の文章は、庁内検討委員会で指摘を受けて修正作業を進めている。また、東京都へ意見照会も行っていることから大々的に文章を変更することは難しい。新駅の位置も含めて、駅周辺のまちづくりを進めていく旨を記載したほうが良いという御意見でよろしいか。
- そうである。土地利用の方針でフォローはされている点と文章を大きく変更することが難しい点について承知した。

- ◎ 昨年の10月に東京都により都市計画素案の説明会があったが、駅前広場等の計画については今後どのように進んでいくのか。
- 昨年の東京都の説明会にて、2市1町のまちづくりに関しても説明している。P36に示すように（仮称）No. 1駅から（仮称）No. 5駅が設置される予定である。そのうち（仮称）No. 3駅については、土地区画整理事業に示す公共広場を都市計画道路と連動しながら駅前広場として整備し、（仮称）No. 1駅は都市施設として駅前広場を整備することを説明した。本年秋頃に東京都による都市計画案の説明会が行われると予想される。その際に、市としても（仮称）No. 3駅の駅前広場の都市計画案を説明する予定である。
- ◎ まちづくり基本方針にも記載はあるが、今後具体的な駅周辺の整備について計画が進んでいくときに齟齬が生じる可能性がある。モノレールの計画が進み、改定を行うタイミングや駅周辺まちづくりに関する計画書を策定した場合に、駅とその周りの交通のあり方については記載してほしい。
- 方針の項目として追記するのは難しいので、P50の道路・交通環境の整備方針の前文に、「駅中心に」といった文言を増やすといった対応はいかがか。
- 承知した。御意見について、文章の表現の方法など含めて検討する。
- ◎ 駅まち空間について記載内容を検討すること。また、今後の見直しの際には新たな概念やキーワード等は反映していったほしい。

**【議題（2）その他】**

- 委員の皆様には、令和2年から7回にわたり、策定委員会にて議論を進めていただいた。今後のスケジュールは、1月中旬まで東京都に意見照会を行っており、照会后に意見を反映する。また、本委員会の御意見についても反映し、2月上旬に最終案を議会に説明し、その後都市計画審議会にて諮問・答申を行う。資料6に、都市計画審議会の日程が2月14日となっているが、2月下旬に変更する予定である。3月上旬に庁議にて決定し、3月末に製本し配布する。2年半、策定に御協力いただき感謝申し上げます。今後もまちづくりに関する計画の策定などが続く予定であるため、市民の皆様、関係機関の皆様には御尽力いただきたい。
- ◎ 令和5年3月に策定し、計画が始まるということであった。策定のための委員会は今回で最後であるが、これからは策定したまちづくり基本方針をベースに市のまちづくりがスタートする。本市は、明治以降となる大きな変革をもたらす鉄道が開通するタイミングである。最後に、各委員から今後の市のまちづくりについて御意見などをいただき、委員会を締めたい。
- 策定に当たってもモノレールの話が多かったが、軌道系ができることま

ちが変わる。移動手段としてはバスもあるが、人々の意識の上で軌道系があるということは大きく変わる象徴であると思う。現在の多摩都市モノレールの利用状況を考えると乗降者は確保できると思う。市にとって好ましい発展とモノレールをいかに結びつけるかが大切であり、市が予測しない方向へまちが発展する可能性もあるため、PDCAサイクルをしっかりと行うことが重要である。スタート地点としてより良いまちづくりを考えていってほしい。

○ 本委員会には2回出席している。印象深い点としては、本市は山の稜線がきれいで、他市と比較すると富士山がきれいに見える。景観を大事にしながら、モノレール延伸をうまく発展させてほしい。開通したモノレールに乗車することを楽しみにしている。

○ 警察としても住みよく、安全安心なまちとなるように努力していく。今後、そういったまちづくりを行う際に、警察からお願いすることもあるため御協力いただきたい。

○ 新青梅街道は、多摩都市モノレール沿線の中で交通量が一番多い幹線道路である。送迎車両や自転車の移動も多くなると予想されるため、市民が利用しやすい駅前周辺を目指してまちづくりをしてほしい。これからはまちが良くなってほしい。

○ 多摩都市モノレールの延伸により、新青梅街道沿道を含め大きくまちが変わると思うが、その際に立川市のベッドタウンとしてではなく、本市への来訪者を増やすことが大切である。そのためには、観光資源の利用を考えなくてはいけないが、現状、アクセスがあまり良くない。車を利用して来られる方が多いが、道路が狭くすれ違いができないなど問題がある。モノレールによってまちが変わっていくのも良いが、北側の道路拡幅も含めて整備していただきたい。

また、東大和市駅やイオンモール等で、夕方になるとムクドリが集まってしまうことがあった。多摩都市モノレールの新駅ができた際には同じような被害が起きないようにしてほしい。

○ 30年間、郷土芸能を教えている。小学生から見てきた子どもたちが大人になった段階で一度まちから出ていってしまうことが多い。結婚して子育て世代になっても、通勤ができない、保育園の数が少ないといった理由から市には住めないという選択をしている。一方で、武蔵村山市が好きで、郷土芸能のイベントの際には戻ってきてくれる人が多数いる。モノレール開通後は、本市を出た人が戻ってきたり、若者が出ていかないようなまちにしてほしい。今の子どもたちが住み続けてくれるよ

